

口永良部島の火山活動について（第3報）

※ これは速報であり、数値等は今後変わることもあります。

1 火山活動の状況及び予報警報事項（気象庁4月13日12時35分発表）

- ・口永良部島に火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）を発表。
- ・口永良部島では、4月に入り主に古岳火口付近の浅いところを震源とする火山性地震が多い状態で経過しています。
- ・また、GNSS連続観測では2023年6月下旬頃から11月頃にかけて古岳付近の膨張を示す変動が観測されており、現在も膨張した状態が維持されています。
- ・口永良部島では、火山活動が高まっていますので、新岳火口及び古岳火口から概ね2kmの範囲、及び向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

○ 対象市町村等

<継続> 火口周辺警報：入山規制等
鹿児島県屋久島町

○ 防災上の警戒事項等

新岳火口及び古岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

<口永良部島に火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）を発表>

新岳火口及び古岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒してください。

<噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げ>

2 体制

- ・警戒体制：気象庁
- ・注意体制：本省、国土地理院、九州地方整備局、九州運輸局

3 人的被害等

- ・現時点で被害情報なし
- ・フェリー通常運行

4 気象庁情報

- ・今回の発表は、噴火ではなく火山性地震の多発に伴うもの。
(いずれも震度1未満だが、10日以内に100回以上かつ10回以上の日が8日以上)。
- ・14:35 記者発表済み
- ・次の火山の状況に関する解説情報は、明日16時頃に発表予定。

5 国土交通省関連の被害状況等

- ・現時点で被害情報なし
- ・リエゾン派遣なし
- ・ホットライン
九州地整 西之表港湾事務所長より屋久島町長へ実施。
被害情報なし。

6 海上保安庁の対応状況

- ・現時点で被害情報なし
- ・通常通りの体制継続（即応待機）。

問合先：水管理・国土保全局防災課災害対策室 藤村 代 表：03-5253-8111 内線35-762 直 通：03-5253-8461
